

思いをカタチにして活躍する ユースボランティア

日本赤十字社の活動を支えるボランティアの中には、18歳～30歳の社会人や学生で構成されたユースボランティアグループが全国で活躍しています。今回は、愛知県支部を支えている名城大学薬学部、南山大学、日本赤十字豊田看護大学そして名古屋学芸大学の青年赤十字奉仕団の活動をご紹介します。

防災・減災の啓発

赤十字の防災教育の普及



炊き出しの実施



命を守る知識と技術の習得



災害への備えを多くの人に知ってもらい防災や減災への意識を高めてもらうために、子ども向け防災教育プログラムの実施や、ハイゼックスを使った炊き出しの普及を行っています。また、学生自身が赤十字の命を守るための講習を受講し、平時から命を守るための技術や知識の向上を図っています。

献血の普及

親子血液教室



各イベントでの献血クイズ



街頭での献血呼びかけはもちろんのこと、愛知県赤十字血液センターが主催するイベントなど、子どもから大人まで幅広い年代の方々に献血の重要性を伝える活動をしています。

特色ある奉仕団活動



名城大学薬学部青年赤十字奉仕団は、毎週水曜日に名古屋第二赤十字病院の小児病棟を訪問し、入院生活を送る子どもたちと工作を通じた交流を行っています。50年以上にわたり受け継がれているこの活動が評価され、この度、愛知県の平成30年度ボランティア功労者表彰を受賞しました。

愛知県支部ではボランティアをしてみたい学生・社会人を募集しています。興味のある方は日本赤十字愛知県支部までお問い合わせください。

赤十字の活動資金にご協力お願いします。

赤十字事業は、みなさまからの活動資金のご協力によって、支えられています。みなさまのご協力をお願いいたします。

